



表紙デザイン：
2022の窓から未来を望む

金融力で未来をデザインします

未来への責任

お客様視点

卓越したサービス

個の挑戦と協働

金融フロンティアの弛まぬ開拓を通じて、
お客様及び社会の課題を解決し、
日本と世界の持続的発展を実現します。

産業・インフラ分野のプロフェッショナルとして、幅広いリスク対応能力を発揮して事業や市場の創造をリードするとともに、危機対応など社会的な要請に的確に応え、2030年の経済・社会において独自の役割を果たします。

*Green
Resilience & Recovery
Innovation
Transition / Transformation*

挑戦
誠実

Initiative & Integrity

価値創造ストーリー

- P 1 目次と編集方針
- P 2 価値創造のあゆみ
- P 4 企業理念体系
- P 6 価値創造プロセス
- P 8 価値創造を支える強み
- P 10 社長メッセージ
- P 16 第5次中期経営計画
- P 18 サステナビリティの実現に向けて
- P 23 連携・協働による
金融市場の活性化・安定化

戦略

事業戦略

セクター戦略

- P 24 エネルギー分野
- P 26 運輸・交通分野
- P 28 都市開発分野
- P 30 産業分野

エリア戦略

- P 32 地域
- P 34 海外

機能戦略

- P 36 特定投資・危機対応
- P 40 シンジケーション・アドバイザリー・
コンサルティング
- P 42 アセットマネジメント

経営基盤戦略

- P 44 財務戦略
- P 46 人材戦略
- P 50 ナレッジ／連携・協働

- P 52 気候変動への対応

コーポレート・ガバナンス

コーポレート・ガバナンス

- P 56 会長メッセージ
- P 58 コーポレート・ガバナンスに関する
基本的な考え方
- P 62 取締役、監査役及び執行役員
- P 65 社外取締役によるメッセージ
- P 66 コンプライアンス

リスク管理

- P 68 リスク管理態勢
- P 68 統合リスク管理
- P 72 ストレステスト
- P 73 事業継続への取り組み

コーポレート・データ

- P 74 財務・非財務ハイライト
- P 76 連結財務サマリー
- P 78 沿革
- P 79 大株主の状況
- P 79 株式会社化以降のDBJ法の変遷概要
- P 80 組織体制

データ編

- P 82 株式会社日本政策投資銀行法
- P 99 財務の状況
- P177 会社情報／グループ会社

編集方針

DBJグループは、ステークホルダーの皆様とのコミュニケーションを深めるため、2003年度に初めて「社会環境報告書」を発行しました。2017年度より発行しております「統合報告書」は、財務情報と非財務情報を通じ、DBJグループの事業内容や持続的な価値創造に向けた取り組みについて、広くステークホルダーの皆様にご説明することを目的として編集しています。

統合報告書2022では、サステナビリティ経営の考え方を明示化すべく「価値創造プロセス」の高度化、気候変動・TCFD提言対応にかかる開示の充実化、非財務資本の整理といったブラッシュアップを実施しました。

なお、本統合報告書における記載内容については、経営会議において決定しています。

報告対象期間・範囲

- ・対象期間 2021年4月～2022年3月（一部、対象期間外の情報を含みます。）
- ・対象範囲 原則として、DBJと主要な子会社12社について報告しています。
- ・発行時期 2022年8月

参考にしたガイドライン等

- ・国際統合報告評議会（IIRC）国際統合報告フレームワーク
- ・価値協創のための統合的開示・対話ガイダンス

ディスクレーム／免責事項

本統合報告書には、将来予測に関する記述が含まれています。こうした記述は、本統合報告書作成時点における入手可能な情報及び不確実な要因にかかる仮定ないし判断を前提としており、諸条件の変化によって、実際の結果と大きく異なる可能性があります。

